



大修館 探究オンライン
ACTUAL
アクチュアル



2024年度 実施効果報告レポート

【事業者名】
株式会社紀伊國屋書店

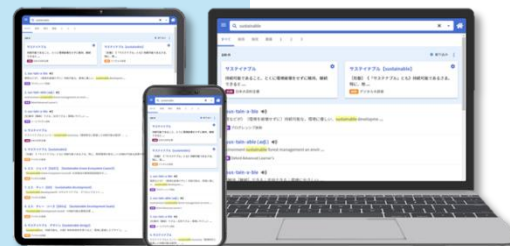
【サービス名】

- ① アクチュアル (1-100)
- ② アクチュアル (101-400)
- ③ アクチュアル (401-700)
- ④ アクチュアル (701-1000)
- ⑤ アクチュアル (1001-10000)
- ⑥ アクチュアル (10001-)
- ⑦ ジャパンナレッジSchool

【支援項目】

- ①～⑥ 授業、授業準備、成績処理
- ⑦ 朝の業務、授業、授業準備

2025年1月





“アクチュアル”は探究学習に特化した中高向けのオンライン学習サービスで、授業準備の省力化を可能にする指導案付きの教材や、先生方の負担を減らし授業を円滑に進める生徒用教材を数多く収録。学習管理もアクチュアル内で完結するため、授業準備から成績処理まで、探究学習に関わる様々な業務の効率化・省力化を支援する。

【特徴】

- ・1コマから取り組める指導案付きの教材から年間を通じた探究学習をサポートする副読本まで、様々なレベルやニーズに対応した教材を収録。
- ・時間数や学力など、それぞれの学校の事情に応じて、教材は自由にアレンジすることができる。

【活用場面】

“アクチュアル”収録の教材を以下の場面で使用可能。

- ・中学校「総合的な学習の時間」
- ・高校「総合的な探究の時間」
- ・国語・数学等各教科での探究型学習



【支援内容】

“アクチュアル”導入から活用まで幅広く支援。

- ・導入サポート：授業を想定した操作方法を具体的に説明。
- ・活用サポート：利用中も定期的に操作・授業の両面で困っている点や課題を解決。
- ・授業計画サポート：学校の到達目標や年間計画に合った“アクチュアル”の活用方法を提案。

ジャパンレッジ School

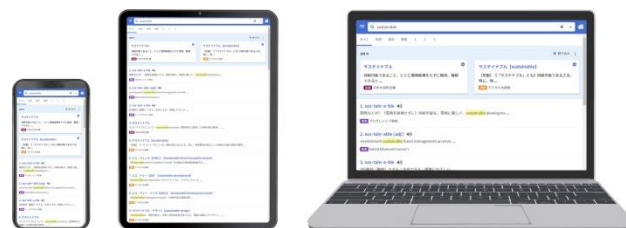
各出版社から提供された信頼できる情報を
いつでもどこでも利用できるオンライン図書館

【特徴】

- ・ 百科事典、辞書、参考書、統計資料、地図、新書、雑誌など幅広いジャンルの全64種類・1,000冊以上を一括検索・閲覧可能 ※2025年1月現在
- ・ 1人1アカウントで、いつでもどこでも利用できる
- ・ Google・Microsoftアカウントでも利用可能
- ・ 確かな情報で、情報リテラシー教育をサポート

【活用場面】

- ・ 教科横断型の探究学習
- ・ 各教科学習での調べもの
- ・ 進路指導、入試対策
- ・ 読書推進



【支援内容】

- ・ 探究学習、教科授業に必要な資料類を、生徒が手元の端末から、いつでもアクセスできるので、教員の事前準備・配布などの業務負担が軽減。
- ・ 統計データ、画像などは、各出版社から提供された信頼性の高い資料なので、著作権の心配なく、安心して授業・教材に活用できる。
- ・ 搭載されている資料は、生徒に該当箇所のURLを伝えるだけで同じページを共有できるので、効率よく授業を運用できる。

●働き方改革支援補助金における導入実績



設置者数：5機関 学校数：8校

| 都道府県 | 学校等 設置者数 | 公立中学 | | 公立高校 | | 私立中学 | | 私立高校 | | 合計 | |
|------|-------------|------|-----|------|-------|------|-----|------|-------|------|-------|
| | | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 |
| 神奈川県 | 1 | | | 2 | 2,903 | | | | | 2 | 2,903 |
| 新潟県 | 1 | | | 2 | 1,155 | | | | | 2 | 1,155 |
| 長野県 | 1 | | | 1 | 297 | | | | | 1 | 297 |
| 大分県 | 1 | | | | | | | 1 | 309 | 1 | 309 |
| 熊本県 | 1 | | | | | 1 | 216 | 1 | 1,134 | 2 | 1,350 |
| 合計 | 5 | 0 | 0 | 5 | 4,355 | 1 | 216 | 2 | 1,443 | 8 | 6,014 |

※両サービス導入校はそれぞれにカウントしております。

●働き方改革支援補助金における導入実績

ジャパンナレッジSchool

設置者数：17機関 学校数：23校

| 都道府県 | 学校等 設置者数 | 公立中学 | | 公立高校 | | 私立中学 | | 私立高校 | | 国立中学 | | 合計 | |
|------|-------------|------|-----|------|-------|------|-------|------|-------|------|-----|------|--------|
| | | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 | 導入校数 | 生徒数 |
| 北海道 | 1 | | | 1 | 954 | | | | | | | 1 | 954 |
| 岩手県 | 1 | | | | | 1 | 36 | | | | | 1 | 36 |
| 茨城県 | 1 | | | 1 | 695 | | | | | | | 1 | 695 |
| 東京都 | 6 | 1 | 258 | | | 3 | 1,977 | 3 | 1,479 | 1 | 335 | 8 | 4,049 |
| 神奈川県 | 1 | | | 2 | 2,903 | | | | | | | 2 | 2,903 |
| 新潟県 | 1 | | | 2 | 1,220 | | | | | | | 2 | 1,220 |
| 長野県 | 1 | | | 1 | 297 | | | | | | | 1 | 297 |
| 大阪府 | 1 | | | 1 | 681 | | | | | | | 1 | 681 |
| 兵庫県 | 1 | | | | | 1 | 376 | 1 | 537 | | | 2 | 913 |
| 山口県 | 1 | | | 1 | 238 | | | | | | | 1 | 238 |
| 福岡県 | 1 | | | | | | | 1 | 95 | | | 1 | 95 |
| 熊本県 | 1 | | | | | 1 | 216 | 1 | 1,134 | | | 2 | 1,350 |
| 合計 | 17 | 1 | 258 | 9 | 6,988 | 6 | 2,605 | 6 | 3,245 | 1 | 335 | 23 | 13,431 |

※両サービス導入校はそれぞれにカウントしております。



活用事例 < 日本文理大学附属高等学校 >

学校が抱えていた課題

- * 教員がどのように探究を進めていいかわからず、授業の終着点が見えていなかった。
- * 授業準備に教員がかなりの時間を取られていた。
- * 生徒は探究がどのようなものかわからず、流されるままの授業になっていた。

アクチュアルに用意されている教材を「総合的な探究の時間」で活用

- * アクチュアルの「ミニ探究」を1学期を通して行い、2学期に「ミドル探究」を行った。
- * ミニ探究→ミドル探究というように移行できたため、生徒の探究に対するイメージ付けができた。



【実際のクラスの事例】

- * 1学期に行ったミニ探究
 - ①「学校の中の危険な場所を探す」
 - ②「持続可能な学校づくりのためのCM作り」
- * 2学期に行ったミドル探究
 - ①「被災地を支援する」



【実際の先生方の声】

- * ワークシートが用意されているため授業準備が楽になった。
- * 最初からワークシートを作らなくて済むので助かっている。
- * 指導計画の案があり、どうしてよいかわからないことが解消されてよかった。
- * 導入部分で説明がしっかりされているから生徒が取り掛かりやすいと感じた。

授業展開案（ダウンロードしてアレンジが可能）→

ミニ探究 1-4「学校の中の危険な場所を探す」授業展開案

【想定時間（コマ）数】
・2～3時間

【使用ツール・ファイル】
・ワークシート（Word等）、発表テンプレート（パワーポイント等）、自己評価シート（Excel等）
*各シートは生徒に作成させ、必要に応じて提出させる






【関連する教科】
・保健体育、特別活動

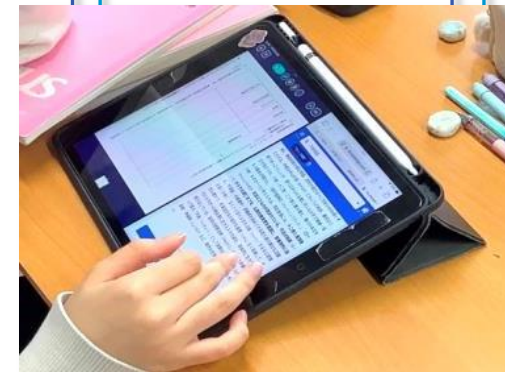
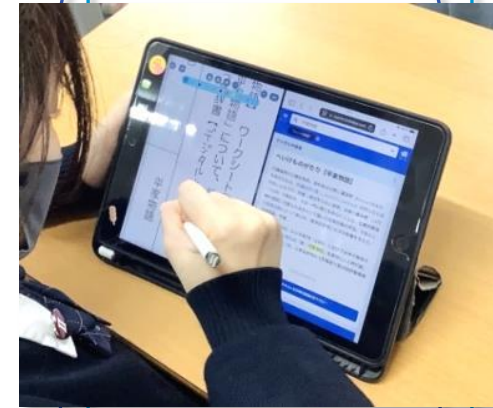
【この教材に関連するコース】
・本探究 調べ学習編：探究の前に
・本探究 調べ学習編：テーマの決め方
・本探究 調べ学習編：情報の集め方
・本探究 課題研究編：問いの立て方と仮説について
・本探究 課題研究編：研究計画を立てる

ジャパンナレッジSchool 活用事例 <山脇学園中学校>

中学2年生 古文の授業での活用


『平家物語』の授業でジャパンナレッジSchoolを使って文学史・語句・作品の特徴を調べてワークシートを仕上げる学習を行った

- 
【複数の情報から調べることができた】 “平家物語”でキーワード検索を行うと、国語便覧、百科事典、古語辞典など複数のコンテンツからいろいろな情報を得られるので、生徒が自分に合った、理解しやすい検索結果を選べた。また、どのコンテンツから書き抜くか選ぶことで、自分で調べて書いている実感が得られた。『平家物語』の特徴について各自で調べた後、ペアやグループで共有し、さまざまな意見があがった。
- 
【正確な情報が得られた】 語句調べの際、古語辞典を持っていない生徒はこれまでインターネットで調べていたが、わかりにくい情報、間違っている情報もあった。コンテンツから古語辞典を使うことですばやく正しい情報を得られた。
- 
【端末をうまく使えた】 ジャパンナレッジSchoolとワークシートをタブレット上で2画面表示して作業を行う生徒が多かった。慣れるまでは時間がかかっていたが、何回も行うことでうまく使いこなせるようになってきた。
- 
【自主的な学びにつながった】 今回の文学史の学習で、授業担当者が調べて説明するのではなく、授業中に生徒に調べさせて共有する方法にしたところ、生徒が自主的に調べるようになり、教員の負担軽減にもつながった。
- 
【教員の授業準備でも活用できた】 授業で使うプリントの回答を準備中、すぐに調べたい語句があり、手元のパソコンでジャパンナレッジSchoolを使ったところ、正確な情報を早く調べることができ、便利だと感じた。



中学1～3年生 夏休みの読書課題での活用

夏休みに新書を読んでブックレポートを書く課題があるので、今年は紙の本に加えてジャパンナレッジSchoolの新書も使った

- 
【電子書籍と紙の本から選んで読むことができた】 新書を選ぶのも読むのも少し難しいと感じる生徒にとっては、ジャパンナレッジSchoolの画面にたくさん並んでいる中から選んで読み始めることで少しハードルが下がった。タイトルが気になる新書を複数開いてみて、これを読んでみよう、と選べるのがよい。またいつも手元にあって、通学中など隙間時間にすぐに読めるため使いやすかった。

ジャパナレッジSchool 活用事例 <光塩女子学院中等科・高等科>

国語、社会、倫理、小論文指導、朝読書の時間など、幅広い場面でジャパナレッジSchoolを活用。

中学1年生 国語の授業での活用

「言葉しらべ」の課題として、「草木にまつわる冬の言葉」などの、春夏秋冬の「風」や「草木」にまつわる言葉をテーマとして各グループに割り振り。角川ソフィア文庫『俳句歳時記 第五版』を参照して、各テーマに関連する季語を調べた。

【ワークの流れ】

- ・ Google Jamboardに共有シートを作成し、生徒が選んだ季語とその意味を記入。
- その後、季語を使った俳句を選定し、他グループが振り返りとして関連する季語をシートに追加。
- ・ 完成したシートはGoogle Classroomで共有され、印刷物として掲示も行われた。

学校が抱えていた課題

- ・ ICTツールのさらなる活用を目指したい。
- ・ 信頼できる情報源へのアクセス向上。
- ・ 授業準備の負担（生徒人数分のプリント準備が必要）
- ・ 紙資料・辞書の持ち歩きによる負担。



一冊の書籍を同時に利用可能。協働的な学びにつながった。

生徒が選んだ俳句

冬蕨もつと冬も素なる土の宮 鈴木 理子
冬の梅あたり払って咲きにけり 一茶
冬の花蔵渦なす煙上ぐ 小林千史
寒梅や雪ひるがへる花のうへ 夢太
木の葉ふりやまぜいそぐなよ 加藤 敏郎

生徒が選んだ季語とその意味

草木にまつわる冬の言葉
落ち葉 散り落ちた木の葉

【ふゆの】：冬の季節の野原。草木が枯れ、雪に覆われた風景を指す。
冬草【ふゆあおい】：冬に青つ葉（あおい）の植物。また、冬に強い植物の代名詞として使われることがある。
冬將軍【ふゆしょうぐん】：冬の厳しい寒さを擬人法で表した言葉。
小菊（こかぶ）：カブの一品種。葉の数は少なく、根も小さいもの。
寒梅（かんばい）：寒中に咲く梅。
【草の内】：1年で最も寒さが厳しいと言われている期間のこと。
【空嵐】：晴れた冬の日に吹く乾いた強風・北風のこと。
【寒月（かんげつ）】：寒さが厳しい冬の夜に冷たく光輝く月の意味。
【冬の朝】：夜の寒さが残る冬の早朝の様子。
【冬紅葉（ふゆもみじ）】：周りの紅葉がすでに枯れたあとに色付きはじめる紅葉のこと。
霜の声【しものこえ】：霜が降りた夜のしんしんとした様子を表した言葉。
各木立 葉が落ちた寒々とした木立。

返り花 二度咲きの花

＜授業で作成した共有シート＞

関連する季語



【端末の活用】

- * 従来は宿題で行っていた言葉しらべをグループワーク形式に変更。端末を使った**共同作業を通じて学びを深めた**。
- * 授業でのジャパナレッジSchool活用により生徒の**PC持参が定着**。従来の紙資料や辞書を持ち歩く負担が減った。
- * レポート作成の課題で**信頼できる文献**にあたることのできた。
- * 朝読書の時間では電子書籍があることで、**生徒の選択肢が広がった**。



【働き方改革への影響】

- * ジャパナレッジSchoolとGoogle Classroomを組み合わせることで、**準備作業の負担が軽減した**。
- * 小学館「新編 日本古典文学全集」、角川ソフィア文庫「ビギナーズ・クラシックス」を教員の授業予習に活用。**紙資料にあたる手間が省けた**。

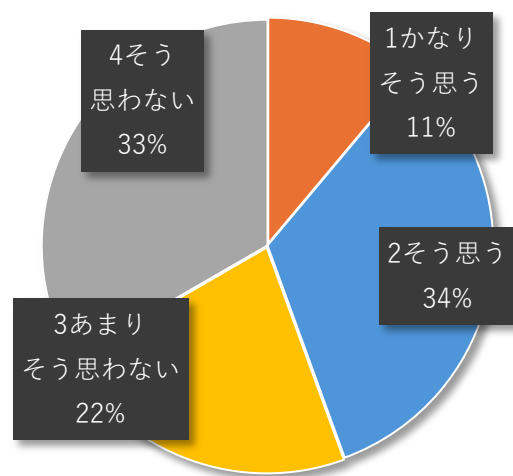


教員

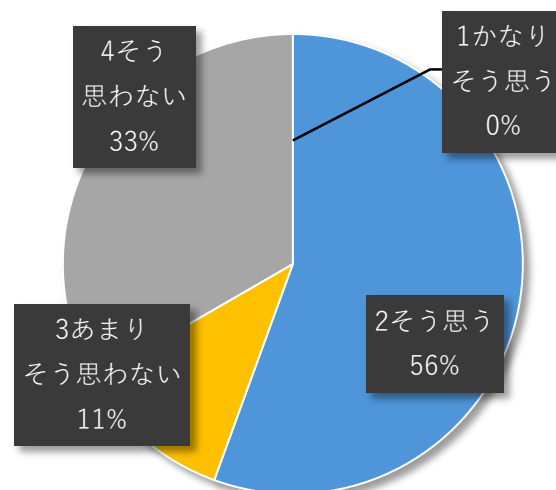
回答数：9名

『生徒の主体的な学び』においては6割近くの教員が活用できると回答、しかし授業準備や仕事効率化に有効と答えた教員は3～4割にとどまった。

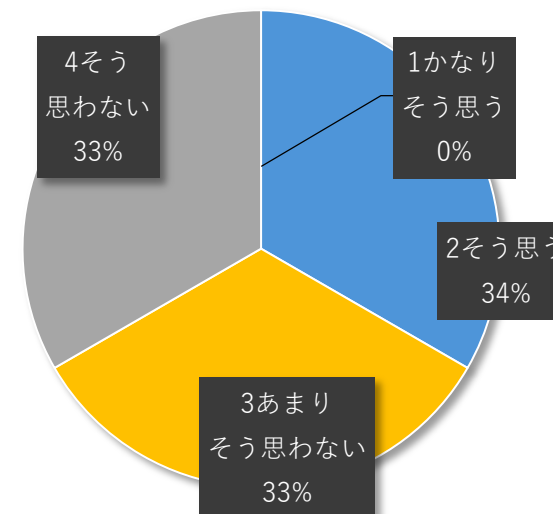
授業準備等有効活用



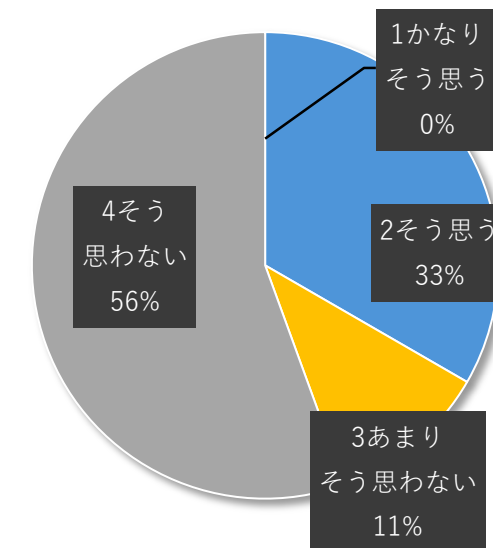
生徒の主体的な学び



授業効率化



成績処理に関わる業務効率化



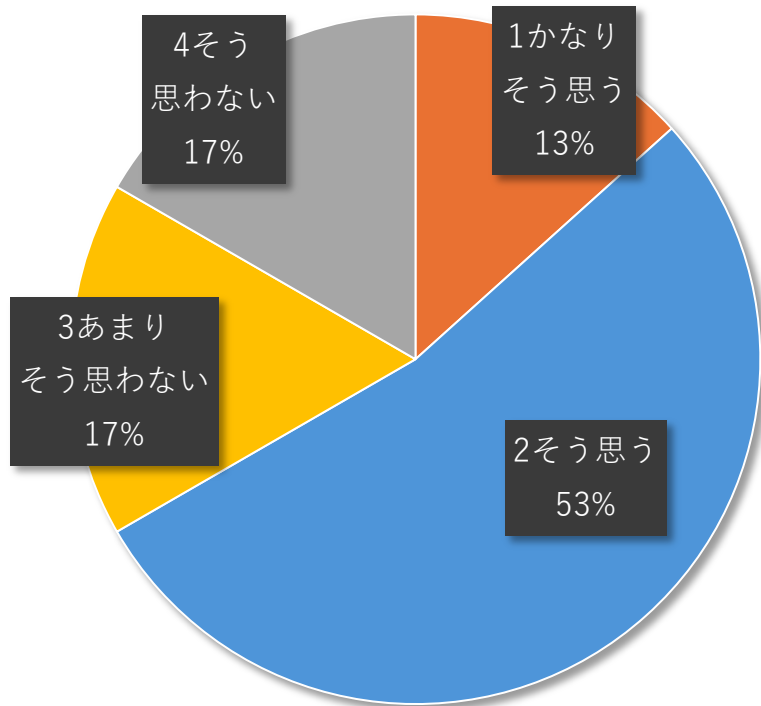


授業等で活用した生徒（約7割）の多くは有効活用できたと回答。
 「総合的な探究の時間」の他、生物、社会、英語の調べ学習でも活用された。

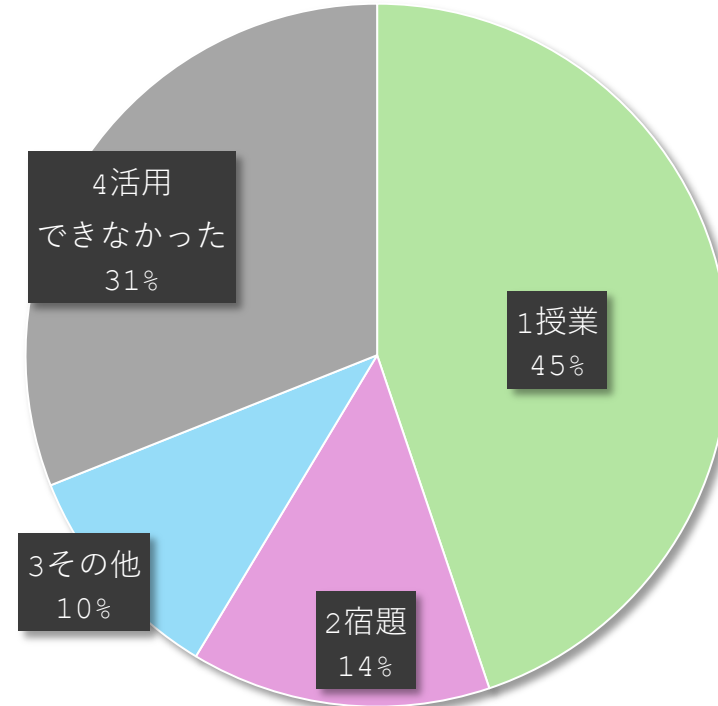
生徒

回答数：30名
 （高校1年生）

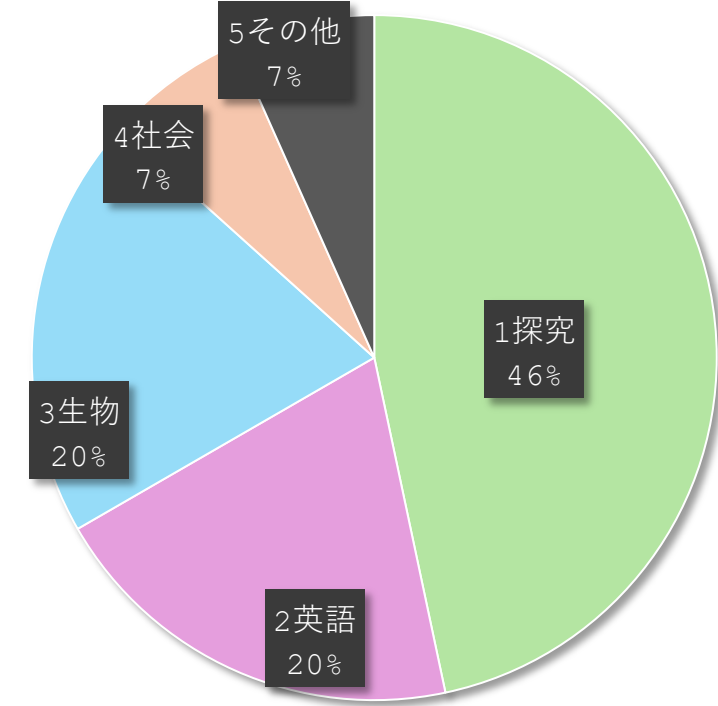
有効活用できたか



活用場面



教科



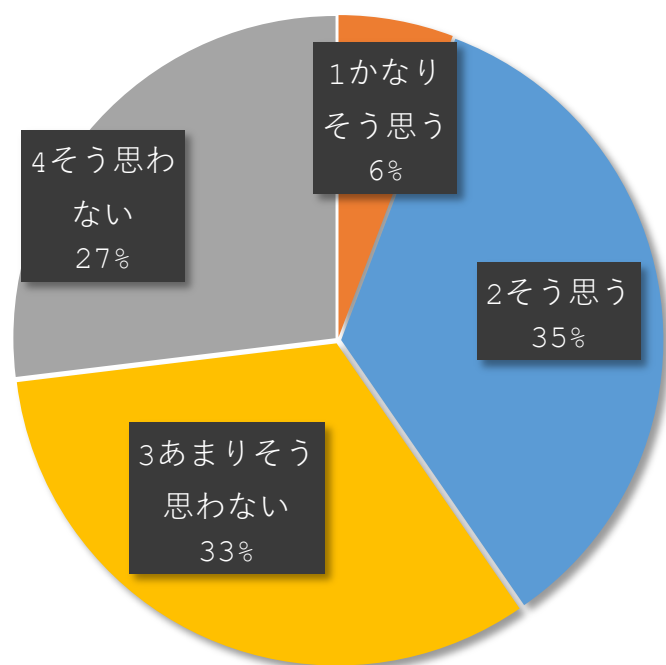
ジャパンナレッジSchool

教員

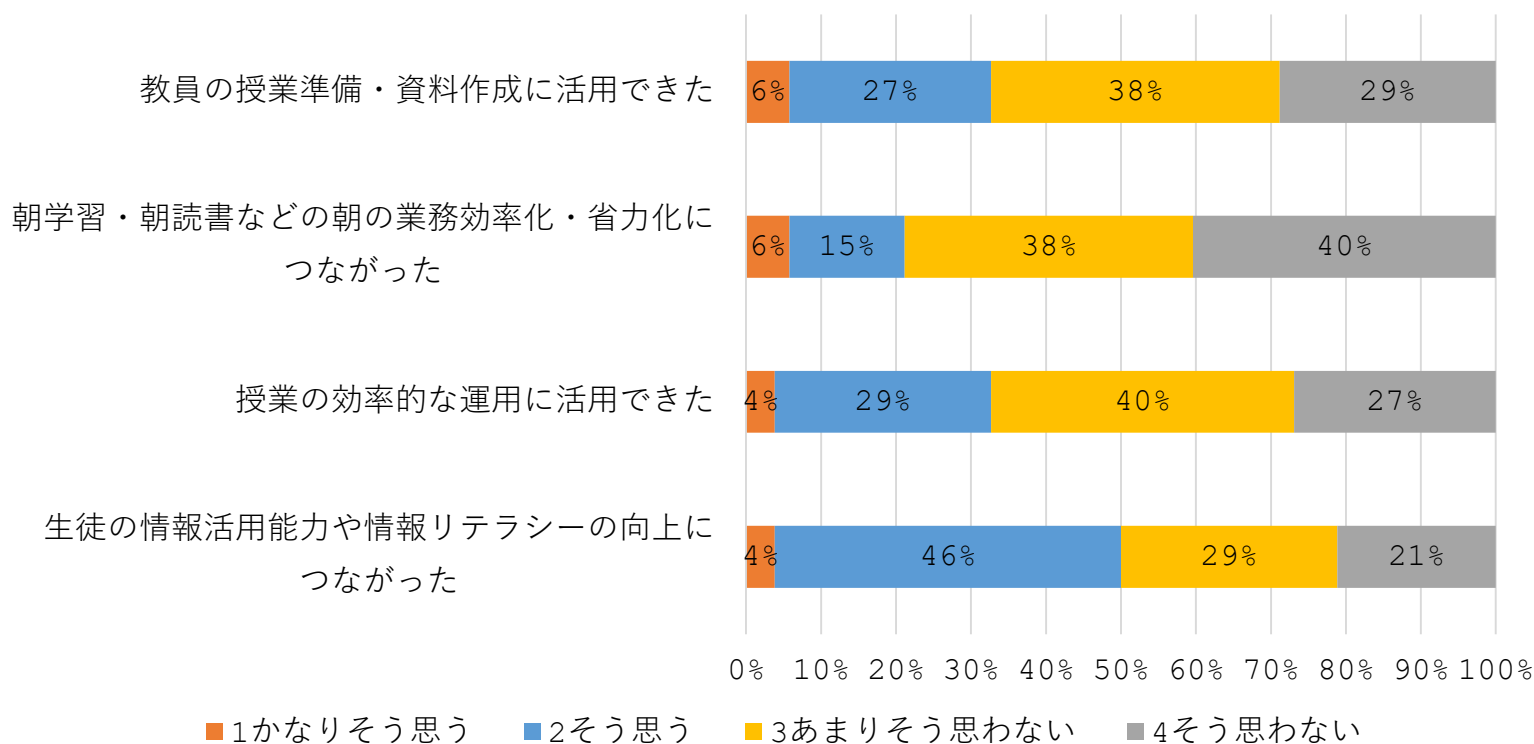
回答数：52名

約4割の教員が学習指導において活用できたと回答。具体的な成果としては、辞事典から新書まで信頼性の高い多彩なコンテンツを搭載しているサービスの特性上、生徒の情報活用能力や情報リテラシーの向上につながったという回答が半数に上った。

学習指導において活用できたか



ジャパンナレッジSchool導入による成果



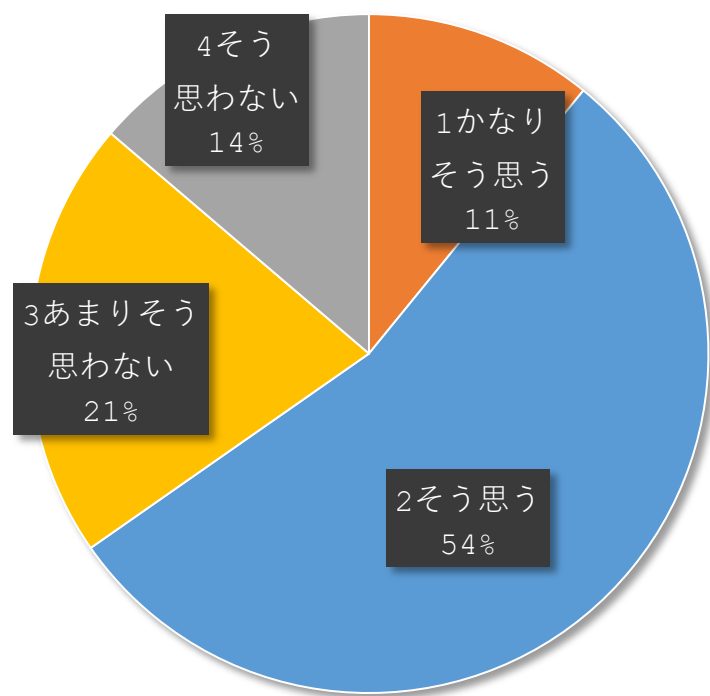
ジャパンナレッジSchool

生徒

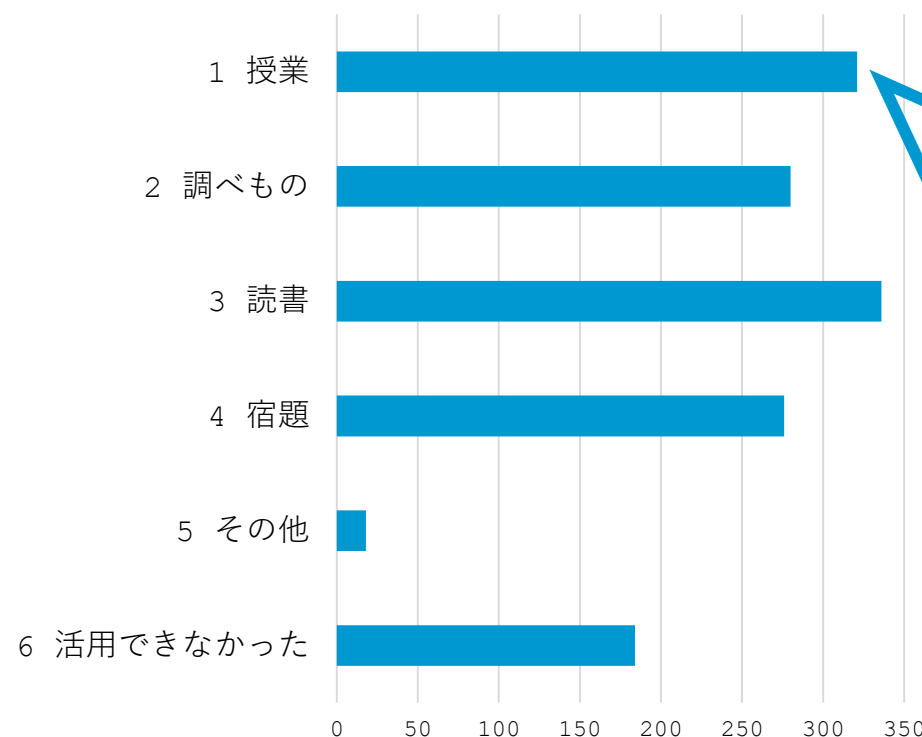
回答数：974名

6割の生徒が活用できたと回答。具体的には授業や読書の場面で活用された。授業においては、特に国語、古典、総合、英語等の科目で活用された。

活用できたか



活用場面 ※複数回答



活用した科目

※複数回答 ※（）は回答数

- 国語 (290)
- 古典 (22)
- 総合 (11)
- 英語 (7)
- 社会 (3)
- 数学 (2)
- 特別活動 (2)
- 理科 (1)
- 化学 (1)
- 経済 (1)
- 深学科プログラム (1)
- 探究 (1)
- 道徳 (1)

課題

補助金によるサービスの利用開始が年度途中のため、年間のカリキュラムが固まっている中、学校側が活用するための調整・授業時間確保に苦慮して利用が進まない。

改善策**・活用例提案**

各校にヒアリングをして、今年度すでに決まっているカリキュラムの中で、どの場面でサービスが活用できるか、具体的な例と共に提案。

・教員向け利用説明会

正式導入の場合は、新年度が始まる前から、サービスの活用方法・事例を教員向け利用説明会で案内し、カリキュラム策定をサポート。

課題

教員が多忙のため、学校全体にサービスの利用を周知できず、有効活用まで至らない。

改善策**・スタートガイド**

サービスの利用をスムーズに開始できる様に、視覚的にわかりやすい、丁寧な説明のスタートガイドを用意。生徒・教員に配布頂く。

・サポートサイトの充実

教員・生徒向けに、使い方、活用方法などを手軽に視聴できる短い時間の動画、データ資料を用意。活用促進を図った。



教 員

- 通信制という環境では継続的に「探究」について生徒に伝える機会がほとんど持てない。
アクチュアルの資料を生徒に提示することで、探究プロセスの過程を伝えることができる。
- 資料は大変参考になる。また、関連するリンクを見ることができるのも大変ありがたい。
- 情報を集めることが容易にできる点で、教員にとって利点がある。
- (生徒が) 探究の流れを把握できていた。
- 生徒によっても個人差が大きく、放課後の時間も多忙なため、活用させる事ができなかった。

生 徒

- 「総合的な探究の時間」の授業で利用した。
- 発表用の資料・スライド作成に活用できた。
(工業基礎、生物など)
- 家庭学習・課題で使用した

ジャパンナレッジSchool

教員

- 校内の実力テストを作成する際に、非常に便利なツールだと感じました。
- いつでもどこでも書籍に触れられるのでありがたいです。
- 国語はデジタル教材として発展するのが難しいかと思っていたが、書籍がパソコン・タブレットで気軽に検索出来たり、古語辞典の検索もしやすく助かった。
- 中学一年生の国語担当としては、読書指導で岩波ブックレットなど様々な本を手軽に読める機能があるのが便利でした。（図書館を利用すると1冊の本を読みたい生徒が複数いた場合、読めないため）

生徒

- あまり足を踏み入れないような分野の本を読んで教養を深められたり、様々な辞典を使って調べられたりして良かった。
- 一つの端末だけで様々な資料や本を読むことが出来て、とても便利だった。
- とても使いやすく、特に国語の意味調べなどに役立ちました。
- 普段読むジャンルとは違うおすすめの本などが載っていて読書の幅が増えた。
- 複数の書籍、情報を一度に参照することができ、とても良かったです。
- 検索機能があり、使いやすかった。

| 株式会社 紀伊國屋書店 概要 | |
|----------------|--------------------------------|
| 会社名 | 株式会社 紀伊國屋書店 |
| 創業 | 昭和 2年1月22日 |
| 設立 | 昭和21年1月16日 |
| 代表者 | 代表取締役会長 高井 昌史 代表取締役社長 藤則 幸男 |
| 資本金 | 3,600万円 |
| 年 商 | 1,352億円 (2024年8月期 連結決算) |
| | 1,023億円 (2024年8月期 単体決算) |
| 従業員数 | 5,000名 |

< 事業内容 >

和洋書籍・雑誌・事務機器・文房具・情報文献・視聴覚教材・教育設備の販売、出版、映像商品・書誌データベース制作、ホールの経営など

< 事業所 >

国内/
新宿本店をはじめ全国主要都市に70店舗
7営業本部（30営業部・営業所）
81ブックセンター
 海外/
43店舗、6営業所・3事務所

< 問い合わせ窓口 >

株式会社紀伊國屋書店 学校教育営業部
 Email: school@kinokuniya.co.jp

①大修館探究オンライン アクチュアル
<https://lp.actual.quest/>

②ジャパンナレッジSchool
<https://school.japanknowledge.com/>